

平成 28 年 9 月 1 日

地盤工学会関東支部 平成 28 年度 第 3 回会員 SG 幹事会資料

日時 : 平成 28 年 9 月 1 日(木) 15:00～17:30

出席者 : 12 名

田中 剛	○	鈴木 亮彦	○	荒井 郁岳	○	佐々木 隆光	○	槌谷 勝之	○
堀 智仁	○	三上 武子	○	山中 光一	○	武田 陽	○	伊藤 友哉	○
佐藤 芙美	○	太田 秀樹	×	重村 智	○				

■ 報告事項

1) 前回議事録の確認

→ 前回議事録を確認した。

2) 若手技術者交流会

- ・ 今回は概ね成功したと思われる。
- ・ 参加者の中には、シニアの方も参加していたので遠慮してしまったという意見もあった。シニアの方の参加を認めるかどうか、来年度の開催に向けて検討が必要である。
- ・ 他の学会でも同様の交流会があるので差別化をしていくべきである。
- ・ 学生幹事の司会が良かった。

■ 検討事項

3) ジオ散歩

- ・ 企画の準備は武田さんに協力してもらおう(事前調査に行くときは交通費を JGS から拠出してもらおうように青木さんに連絡する)。
- ・ 開催は 10 月 15 日(土)PM。予備日は設けず、荒天時は中止とする。
- ・ 中止連絡のために、参加者には申し込み時点で緊急連絡先を聞いておく。
- ・ 昨年度の経験から、6km の行程は長いので、休憩を 2 箇所設ける(座れるところ)。
- ・ 開催前の幹事会で最終確認をする。
- ・ 水門の耐震工事が見学できないか、検討する

4) ソイルストラクチャコンテスト

ー シークレット材料 ー

- ・ 種類 : シークレット材料は 1 種類とする。
- ・ 配布方法 : 受付時に配布する。
- ・ 事前通知 : 購入材料と被らないために、しおりに記載するほうが良いのではないか(その場合は「指定材料」という名称になる)。

→ 次回会議で最終決定

- ・ 候補材料: 使い方が一つでないもの、加工がしやすいものが良い。

毛糸、紐、網戸、紙、粘土、靴下、綿(羊毛フェルト)など。

→ 次回会議で各自購入したものを持ち寄って最終決定

ー その他 ー

- ・ 地盤材料 : 珪砂は確保済み、基盤層の材料は田中先生と山中先生が選定する。
- ・ 体積測定 : 参加者が材料を加工したあとに体積測定をする。体積測定に使用する箱を数種類用意する(省力化のために、できればタッパーなどを購入する)
- ・ 評価方法 : 沈下量だけの計測とする(載荷前の砂降らし準備を慎重にするために家模型を2つ購入することで、横ずれを防止する)。
→ 家模型の選定は荒井さんが行う。
- ・ 表彰 : 総合、対策効果、プレゼンの3賞として、社会人に集中しすぎる場合は、特別賞をとして学生のチームを表彰する。
- ・ 加振段階 : 昨年度同様に3段階とするが、4段階目にパフォーマンスとして極端な加振をしてもよい(ただし、沈下の評価対象は3段階目まで)
- ・ 横ずれ対策 : アクリル板のフーチングをつける
- ・ 告知は 10 月 3 日
- ・ しおり配布は 11 月 2 日
- ・ コンテスト参加費は各チーム 1,000 円+保険代として 500 円/人、交流会参加費は社会人 3000 円、学生 2000 円

■ 次回幹事会予定

- ・ 9 月 21 日(水) 15:00
→ 各自 SSC の指定材料を購入してくる
→ ジオ散歩の下見を実施しておく